

ワクチン接種記録システム（VRS） OCRスキャナのご紹介および操作手順

株式会社オプトエレクトロニクス
営業部

はじめに

このたびは、弊社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。
ご使用前によくお読みになり、正しく安全にお使いください。

ご注意

- ・本書の内容は、予告無く変更される場合があります。
- ・本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一誤記や記載漏れがあった場合でも、それに起因するお客様の直接、間接の損害、不利益につきましては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本書を印刷する場合は A4 用紙をご指定ください。
- ・本書の一部または全部を事前の承諾無く、無断で複写、複製、翻訳、変更することは禁じられています。
- ・ワクチン接種記録システム（VRS）についてご使用方法などのお問い合わせはご対応致しかねますのでご了承ください。
- ・ワクチン接種記録システム（VRS）の仕様変更に伴う、バーコードスキャナの動作については保証出来かねますのでご了承ください。
- ・OCRの読み取り動作は文字の印字品質やバーコードスキャナ読み取り角度や距離などに影響致します。
事前に読み取りが可能か実機によるテストを十分行ってください。
- ・バーコードスキャナの故障についてはご購入いただきました販売店様へ修理の依頼をお願いいたします。

製品の取り扱いについて

- ・製品の取扱方法や設定、保証などに関しては各製品のユーザーズマニュアルをご参照下さい。
ユーザーズマニュアルは弊社Webサイトよりダウンロードが可能です。



https://www.opto.co.jp/products/tool/manual_download.html

接種券OCR読み取り設定

①OCRライン読み取り設定

以下の設定QRコードをスキャナで読み取る事でOCRラインの読み取りが可能になります。



②ブザー音量設定

以下の設定を読み取ることでブザーの音量を変更することができます。



音量 小



音量 中



音量 大



音量 最大



ブザー無効
(ミュート)

③バイブレーション設定

以下の設定をスキャナで読み取ることでバイブレーションを有効にすることができます。

ブザーの音が出せない環境でも振動で読み取りを確認することができます。



バイブレーションのみ有効



ブザー+バイブレーション有効



バイブレーション無効

接種券OCR読み取り設定

④OCRラインの読み取りを禁止してバーコードおよび2次元を有効にする

設定を元に戻したい場合など、以下の設定をスキヤナで読み取ることでOCRライン以外のバーコードおよび2次元コードを読み取ることが可能になります。



サンプル

接種券			
券種	2	ワクチン接種	1 回目
請求先	オプト市		111007
券番号	2007123456		
氏名	オプト 太郎		


211110072007123456

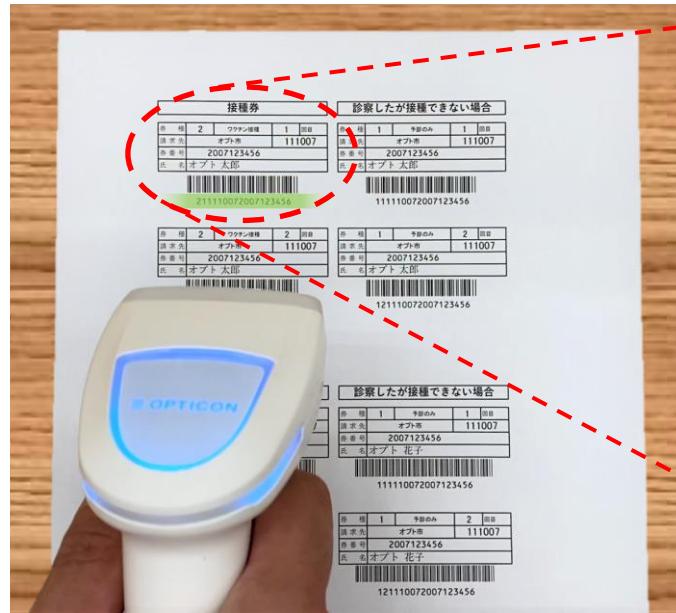
どんな方でも、
OCRラインを簡単[※]に読み取り可能

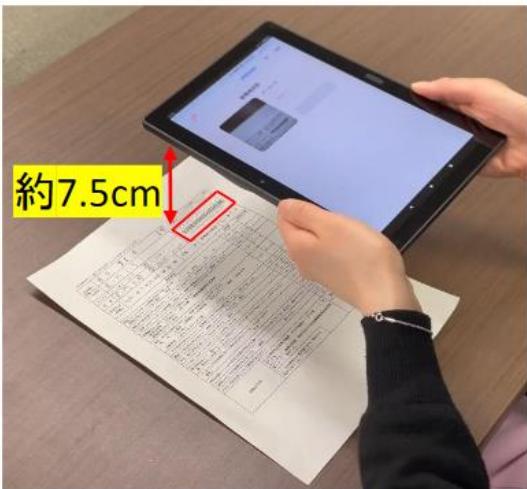


専用の設定（QRコード）を読み取るだけで簡単に設定が可能です。

接種券に印字されたOCRライン（18桁）を瞬き[※]よりも速い速度で読み取ります。

※約0.1~0.2秒





接種会場でのタブレット使用方法(詳細)より

https://www.med.or.jp/dl-med/kansen/novel_corona/vaccination/vrs_doc.pdf

現 状

タブレットのカメラ機能を使って読み取りを行う。

問題として(カメラの)ピントが合わない、読み取りに時間がかかる、などの読み取り作業でトラブルが発生している。

改善策として読み取りに適した位置(7.5cm)に合わせたスタンドの配布やダンボールや重ねた本などに置いて読み取りをおこなっている。

読み取り時間=5~10秒



ご提案

バーコード、OCRの読み取りに特化したスキャナにより、高速な読み取りをご提案致します。

スキャン処理の高速化により業務の効率化と従事される方の負担を軽減致します。

読み取り時間=0.1~0.3秒



ご用意頂くものするもの



VRSタブレット



L-46X
(バーコードスキャナ)

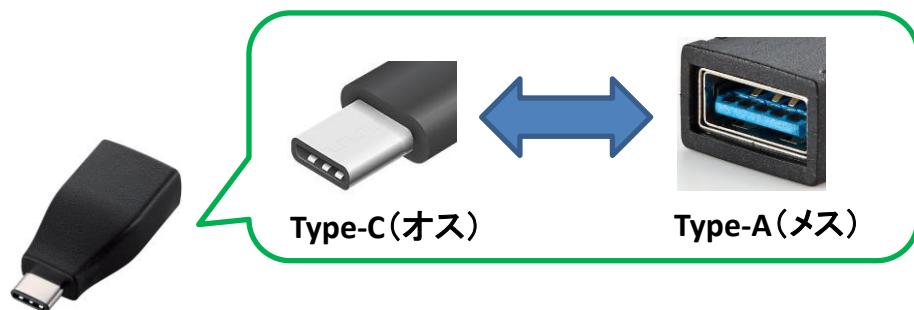


L-22X
(バーコードスキャナ)

もしくは



設定表
(※お持ちの場合)



USB Type-C、Type-A変換アダプタ

準備が整いましたら次のページをお進み下さい。

1. セットアップ

1-1. タブレットの仮想キーボードの表示を有効にします。

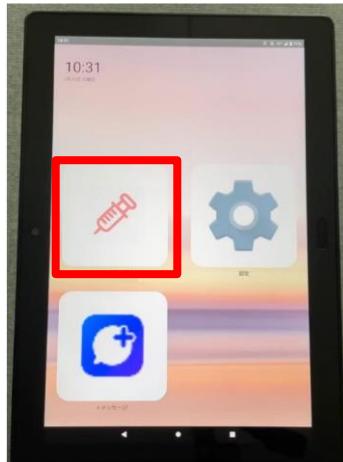


「設定」
「システム」
「言語と入力」
「物理キーボード」
「仮想キーボードの表示」をオン

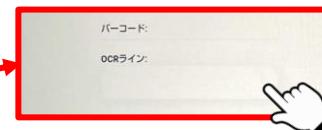
仮想キーボードの表示
物理キーボードが有効になっていても
画面に表示されます



1-2. キーボード言語設定

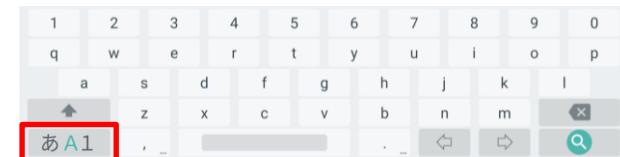


「VRSワクチン接種記録システム」
※キーボードを表示させてください。



入力フォームタップすると仮想キーボードが表示されます。

「キーボードの言語モード(左下)を「英語」(A)に設定してください。」



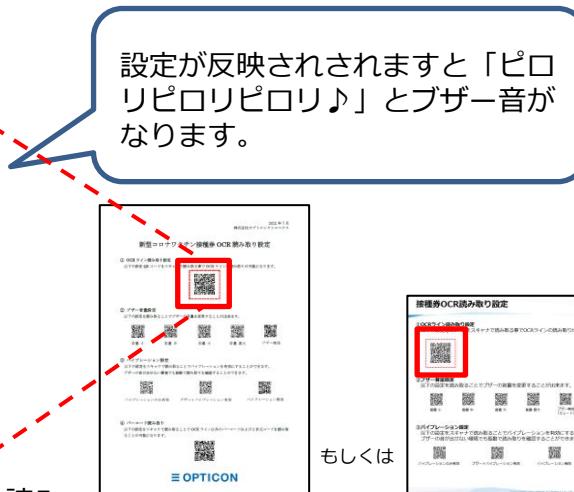
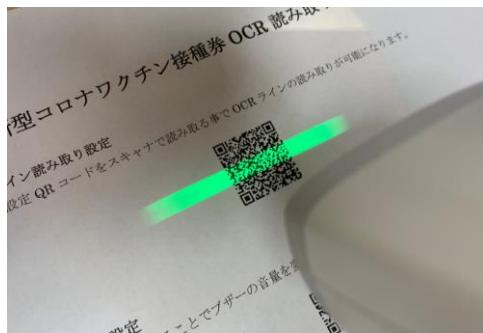
2. スキャナの接続

2-1.スキャナに変換アダプタを付けてタブレットへ接続



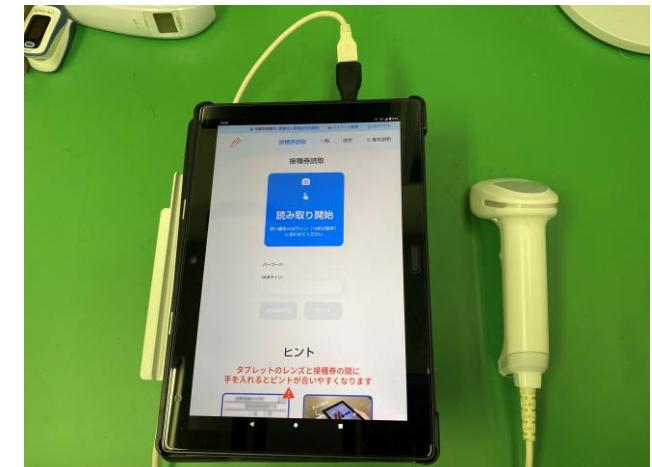
接続するとスキャナの電源が入り、
ブザー音とともに、インジケータが
7色に光ります。

2-2.OCR設定を読み取る



設定表①のOCRライン読み取り設定のQRを読み取ります。

セットアップ完成図



3. OCRラインの読み取り

STEP1



OCRライン入力フォームをタップ

STEP2



スキャナでOCRラインを読み取ります。

STEP3



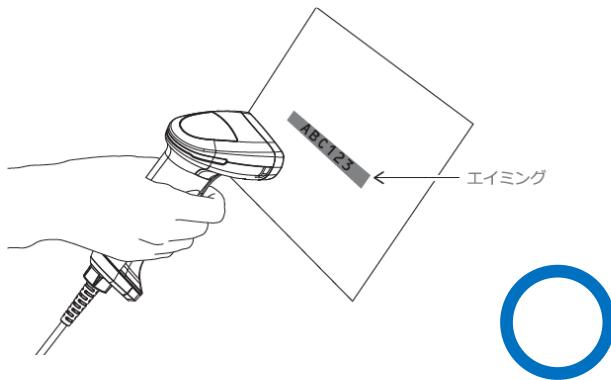
読み取ったデータが出力されます。



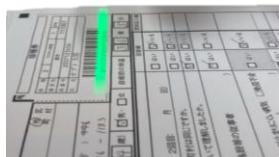
緑のエイミングラインがOCRラインと重なるようにして読み取って下さい。

4. 読み取りのポイント

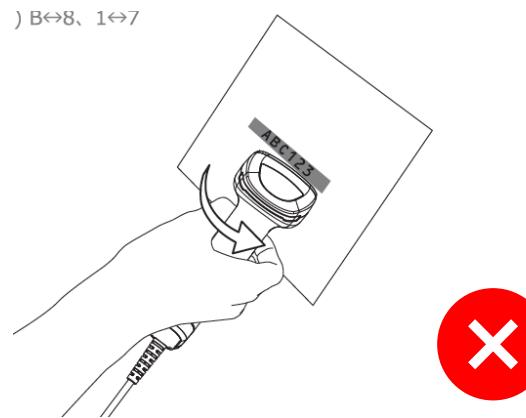
4-1.OCRライン読み取りのポイント



バーコードスキャナと読み取り面をまっすぐ垂直して読み取りを行います。



OCRラインから5~10cm程度離して読みませて下さい。



バーコードスキャナを傾かせると読み取り出来ません。



OCRラインと並行に読み取ります。
緑のエイミングラインとOCRライン
が重なるようにしてください。



211110072007123456

